

「平成18年7月豪雨」で冠水した国道180号
(河内谷・広瀬地区)



梅雨の季節 災害への備えを

雨の多い季節になりました。
この時期、同じ地域に短時間で多量の雨が降るなどして、
山・がけ崩れなどの土砂災害や河川のはんらんが発生し、
大きな被害を受けることがあります。
今一度、災害に対する備えを確認しておきましょう。

気象・防災情報には 十分注意を

日ごろからテレビやラジオ等の気象情報に注意するとともに、市の防災情報にも十分注意してください。

災害時の避難に備えて、非常持出品、避難場所を確認しておきましょう。

家の周りで少しでも異常を感じたときは、早めに避難の準備をして、市役所(☎0200)に連絡してください。

また市は、災害が発生した場合や予測されるときは、ケーブルテレビ、オフトーク通信、防災行政無線によるお知らせ放送や広報車等で皆さんに呼びかけます。

土砂災害に 備えましょう

地質や地形により異なりますが、1時間に20ミ以上の雨が降った場合や、降り始めからの総雨量が100ミを超えると、土石流やがけ崩れなどの土砂災害発生の危険度が高まるとされています。

います。

特に大雨や洪水などの警報が出て1時間雨量が30ミを超えるような場合、急傾斜地や地すべり危険地区などでは、いつでも避難できる態勢を取る必要があります。

ダム放流による 河川増水に注意を

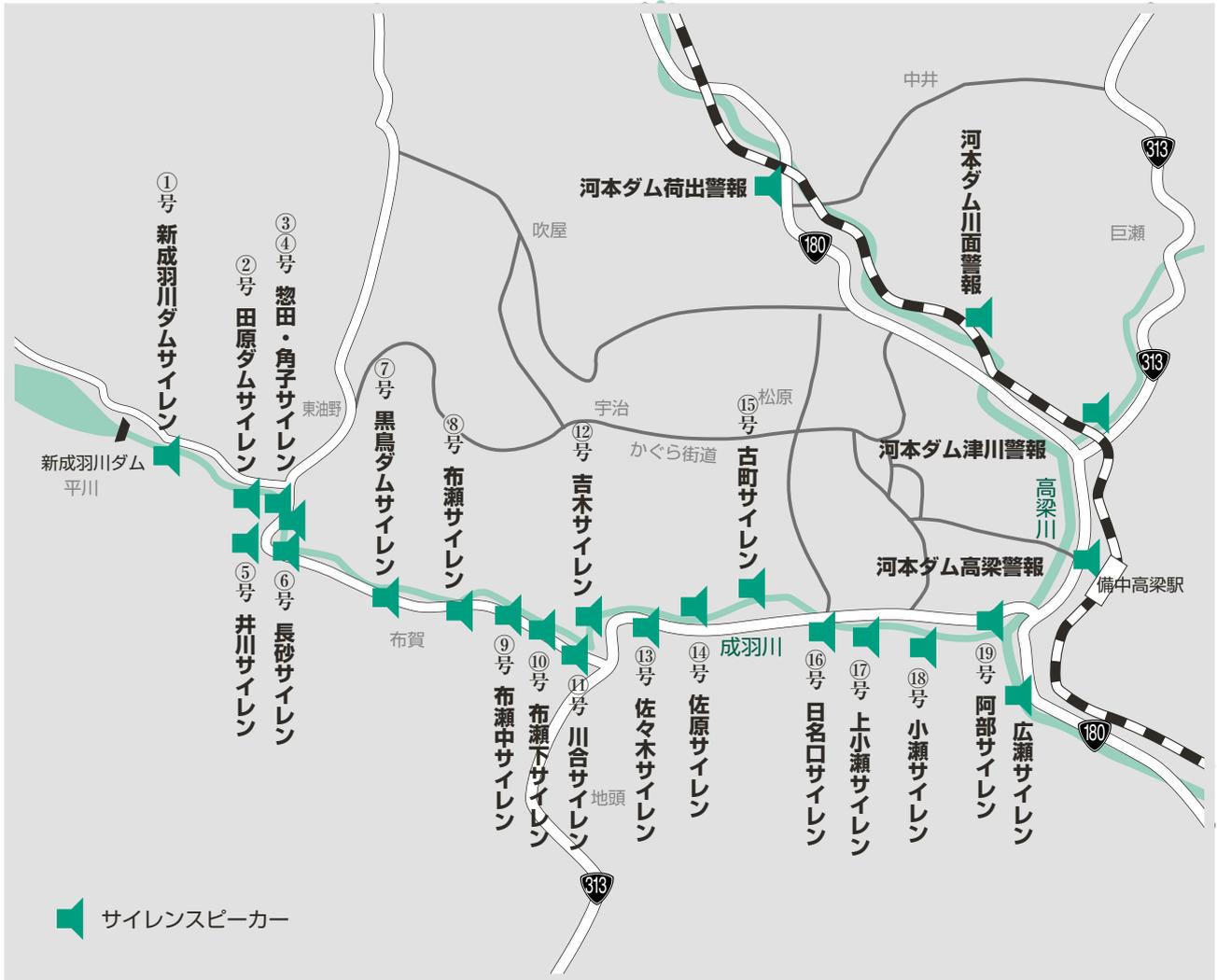
大雨時などは、高梁川と成羽川の上流にある各ダムからの放流により、河川が急激に増水することがあります。このようなときは危険ですので、河川に近づかないようにしましょう。

高梁川の河本ダムと成羽川の新成羽川ダム、田原ダム、黒鳥ダムの放流時には、高梁川と成羽川の合流地点までは、各ダムの管理者からサイレンや広報車等で放流通知があります。

また、河内谷、広瀬、玉川町舟津地区へは、広瀬地区に設置のサイレンで、市から放流通知します。

なお、各サイレンの位置は次ページのとおりです。

ダム放流サイレン位置図



広瀬地区に新しいサイレンを設置

これまではサイレンのみの放流通知でしたが、新しいサイレンは音声でもお知らせできるようになりました。

なお、広瀬地区のサイレンを吹鳴する場合は、次のときです。

- ① 黒鳥ダムの放流通知による、黒鳥ダムから落合町阿部までのサイレン吹鳴のとき。
- ② 高梁川のダム（千屋ダム、河本ダム、小阪部川ダム）と成羽川の黒鳥ダムの合計放流量が600トンを超えたとき、または超えると見込まれるとき。
- ③ ②の合計放流量が900トン、1200トン、1500トンを超えたとき、または超えると見込まれるとき（以降200トン増加ごと）。